

枚方市学校整備計画（第2期実施計画）について

施設計画課

1. 政策等の背景・目的及び効果

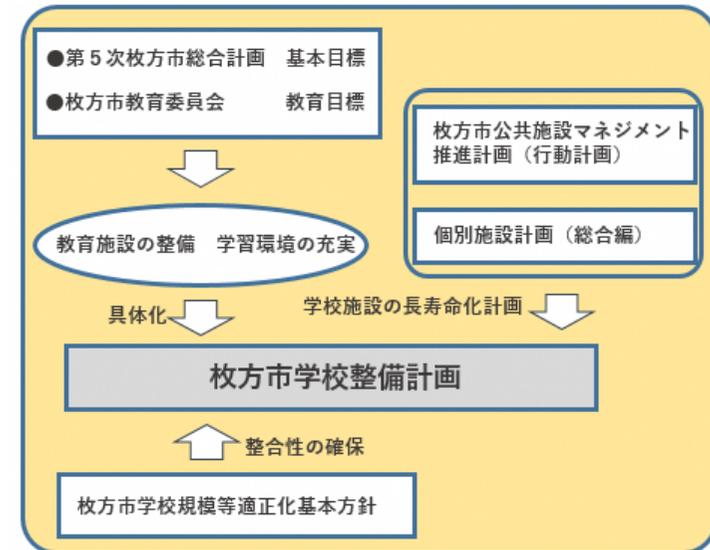
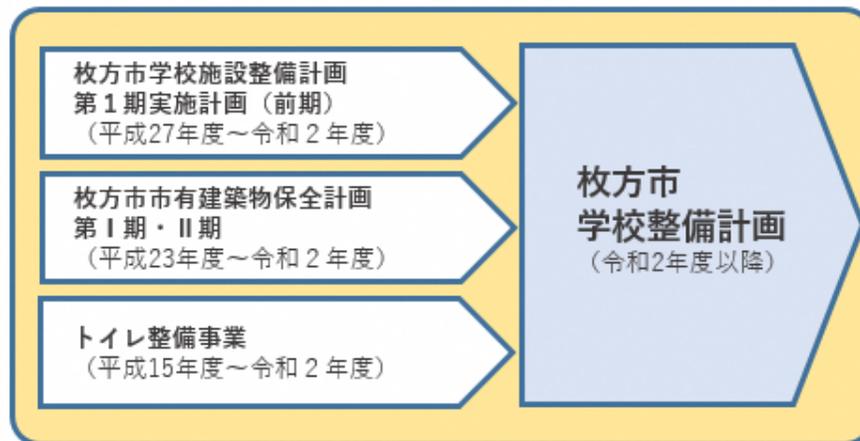
学校施設の整備について、中長期的な視点から財政負担の軽減を考慮し、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等の観点をあわせた効果的・効率的な施設整備を図るため、令和2年3月に「枚方市学校整備計画」を策定し、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全の推進に向け、取り組みを進めているところです。

現在、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第1期実施計画を進めており、今年度で計画期間を満了することから、次期計画となる第2期実施計画の策定に向け、現在の検討状況及び今後の予定等について報告するものです。

2. 内容

(1) 計画の位置づけ

本計画は、第5次枚方市総合計画における基本目標「一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち」及び枚方市教育委員会における教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」の達成に向けた取り組みの方向である「教育施設の整備」「学習環境の充実」に対する施策の計画として、位置づけています。



(2) 計画の期間等

本計画の期間は、令和2年度から令和36年度までの35年間です。

実施計画の期間は5年間毎とし、次期実施計画を策定する際に所要の検証・見直しを行うものとしています。



(3) 報告内容

枚方市学校整備計画 第2期実施計画（骨子案）について

3. 実施時期等

| | |
|--------------|---|
| 令和6(2024)年8月 | 建設環境委員協議会へ報告 ・第2期実施計画の骨子案について |
| 11月 | 建設環境委員協議会へ報告 ・第2期実施計画素案及び意見聴取の実施について |
| 12月 | 意見聴取 |
| 令和7(2025)年2月 | 建設環境委員協議会へ報告 ・意見聴取の結果及び第2期実施計画案について |
| 3月 | 計画の策定・公表 |

4. 総合計画等における根拠・位置付け

| | | |
|------|--------|------------------------|
| 総合計画 | 基本目標 | 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち |
| | 施策目標16 | 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち |



5. その他

資料 枚方市学校整備計画 第2期実施計画（骨子案）

第1章 枚方市学校整備計画の基本的な考え方

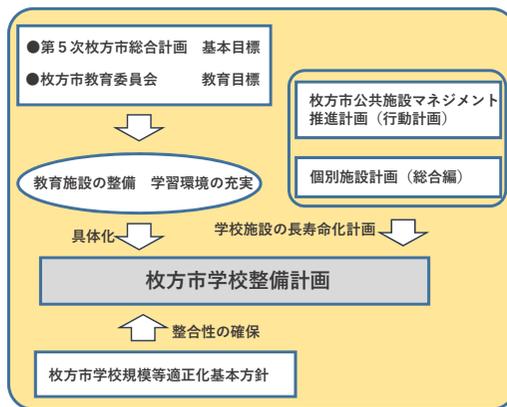
1 計画の目的

- 各施設の耐用年数や中長期的な財政負担の軽減を考慮し、教育環境の質的向上等の観点をあわせた効果的・効率的な施設整備を図ります。
- 「枚方市学校施設整備計画」「枚方市市有建築物保全計画」、トイレ整備事業を一元化することで、より効率的な施設整備を図るとともに、コストの縮減や財政負担の平準化を考慮するものとして、令和2年3月「枚方市学校整備計画」を策定。



2 計画の位置づけ

- 第5次枚方市総合計画や枚方市教育委員会の教育目標の達成に向けた取り組みの方向である「教育施設の整備」「学習環境の充実」に対する施策の計画として位置づけ。
- 国土交通省が定める「インフラ長寿命化基整備計画」において、枚方市の行動計画となる「公共施設マネジメント推進計画」を上位計画とし、学校施設の長寿命化計画に位置づけ。



3 計画の期間等

- 計画期間
 - 令和2年度から令和36年度までの35年間。
 - 実施計画の期間は5年間。次期計画時に検証・見直しを行います。



- 対象施設
 - 小学校及び中学校の校舎・体育館・武道場・その他これらに付随する各種設備
 - 給食調理場（共同調理場を含む）・留守家庭児童会室
 - ※幼稚園は「枚方市市有建築物保全計画」において整理しています。

4 基本的な考え方

【方針①】長寿命化の推進

| | |
|----------|---|
| 小中学校校舎等 | <ul style="list-style-type: none"> ・建築後概ね80年で改築を基本とします。 ・改築時期までは、適切なサイクルで長寿命化改修を行います。 |
| 給食調理場 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設所管部署の事業計画等と整合を図ります。 ・コストや工期の縮減、学校運営への影響に配慮して行います。 |
| 留守家庭児童会室 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物状態を監視しながら保全を実施します。 ・将来的には余裕教室等への移転を進めています。 |

【方針②】コストの縮減

- ・国の財政支援制度を活用して事業費の平準化に努めます。
- ・学校統合等による適正な学校配置に基づく整備を図ります。
- ・将来の児童生徒数の推移を踏まえ、効果的な施設整備を図ります。
- ・ライフサイクルコストも視野に入れて検討します。
- ・長寿命化改修は、仮設校舎の設置を限定的にします。
- ・環境負荷の低減と施設のエネルギーコストの縮減を図ります。

【方針③】学校規模等適正化との整合

- ・教育内容等の多様化により教室が不足する場合は、施設の確保に努めます。
- ・今後策定する計画等に基づき統合を行う際は他の公共施設との複合化も検討します。
- ・学校統合等の検討対象校などは、状態を監視した保全を実施します。
- ・新校舎整備が必要となる学校は、実施計画を必要に応じて見直します。

5 計画の推進

全市的な推進体制

庁内横断的な体制により、実施計画の策定などを行います。

関係者との合意形成

長期的な視点と関係者と合意形成を図りながら計画を進めます。

情報の一元管理

施設情報の一元管理により、設計業務等の効率化を図ります。

財源の確保

工事費の平準化と国庫補助金の活用により、計画を着実に推進します。

PDCAサイクルによる推進

整備内容や手法をPDCAサイクルにより推進します。

日常管理の徹底

日常点検や法定点検などを通じて、施設の劣化や損傷の早期発見に努めます。

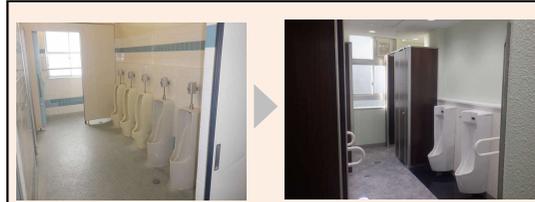
1 第1期実施計画の主な取り組み

● 香里小学校・津田中学校の長寿命化改修工事を実施しました。



Before After
【津田中学校 調理室改修】

● 全小中学校トイレ整備が完了しました。「洋式化・ドライ化・ユニバーサル化」



Before After
【トイレ改修】

● 禁野小学校の新校舎整備事業に着手しました (R8.8 開校予定)



【禁野小学校 新校舎イメージ】

● 学校施設のエレベーター整備等に関する方針に基づき、要配慮児童生徒の在籍校に整備(R5~)

● 全小中学校体育館に空調設備を整備(R5~R6)

● 学校グラウンドの直営改修(R5~)

● 教室等の空調設備更新DBO事業者を選定(R6)



【体育館空調】

2 第1期実施計画の実績・改善効果

事業費

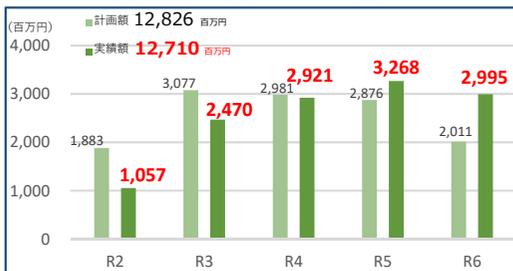
全体事業費

● 計画額約170億円に対して、約147億円で実施しました。



保全・トイレ 改修費

● 外壁や屋上防水、受水槽など老朽化対策やトイレ改修工事を実施しました。



【改修事例：外壁改修】

国庫補助金

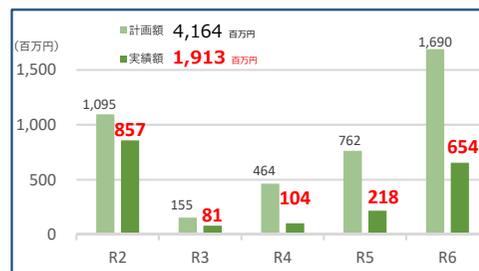
● 約30億円の国庫補助金を活用しました。

単位 (百万円)

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 交付金 | 287 | 637 | 725 | 699 | 431 | 2,779 |
| 負担金 | 32 | 0 | 0 | 0 | 202 | 234 |
| 合計 | 319 | 637 | 725 | 699 | 633 | 3,013 |
| 起債 | 443 | 466 | 504 | 945 | 204 | 2,562 |
| 総事業費 | 1,914 | 2,551 | 3,025 | 3,486 | 3,649 | 14,625 |

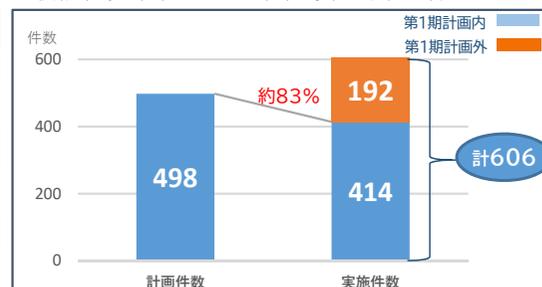
長寿命化等 改修費

● 香里小学校と津田中学校の長寿命化改修工事を実施しました。



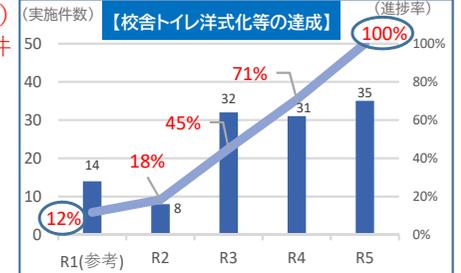
計画達成

● 保全改修等の件数は計画498件に対し414件(約83%) ※点検結果等で前倒しした老朽化対策の改修を含めると606件



【改修事例：内装改修(調理室)】

実施効果



3 新たな課題

第1期計画に取り組んだ老朽化対策やバリアフリー化は、児童や生徒などが安心して学べる環境とするためにも、継続的に取り組んでいくべき課題です。加えて脱炭素化社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備にも取り組む必要があります。引き続き、長寿命化の推進に向けて、計画的な取り組みを進めるための財源確保に努めるとともに、学校を取り巻く多様な環境変化にも柔軟な対応が必要です。

脱炭素化の推進

バリアフリー化

多様な学習環境への対応

事業財源の確保

1 新たな課題への対応

① 脱炭素化の推進

●「枚方市役所CO₂削減プラン」に基づき温室効果ガスの排出量削減等に取り組むため、建築物の省エネルギー化を推進。

- 既設学校は教室空調の更新と照明設備のLED化によりZEB化（ZEB Oriented 相当）（※1）を目指します。
- 禁野小学校新校舎ではZEB Ready（※2）の達成を目指します。
- 大規模改修時の太陽光発電設備の導入を検討します。

教室等空調の更新

▶平成20年度に一齐設置した、教室等の空調設備を令和7年度から令和9年度にかけて約1,800室を更新。



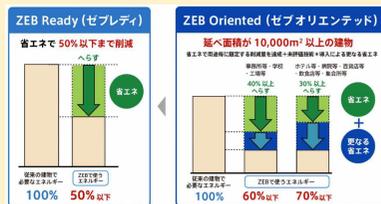
教室空調

照明設備のLED化

▶校舎や体育館の照明設備を、CO₂削減効果の高いLED化に改修



LED照明



※2 ZEB Ready

※1 ZEB Oriented

| 年度 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10～R24 | 計 |
|-------|-------|-------|---------------|---------------|---------|------|
| 事業費 | — | 11.6 | 28.7 | 36.5 | 14.8 | 92.0 |
| 国庫補助金 | — | 2.1 | 5.0 | 6.2 | — | 13.3 |
| 実施内容 | 事業者選定 | 設計・工事 | 設計・工事 維持管理 | 設計・工事 維持管理 | 維持管理 | |

単位（億円）

② バリアフリー化

●全ての子どもたちが安全かつ自由に移動できる環境を整備が必要です。

- 学校施設のエレベーター整備に関する方針に基づき計画的に整備します。
- 特に医療ケアを必要とする要配慮児童生徒の在籍校は整備の加速化を図ります。

エレベーター設置校数（予定）

| | R4 | R5 | R6 | R7 | … R11 | (累計) |
|--------|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| EV設置校数 | 8 | 9 | 10 | 13 | 26 | 26 |
| 小中学校数 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 |
| 設置率 | 13% | 14% | 16% | 21% | 40% | |

※R12以降も毎年度2校程度のペースで整備を進めますが、要配慮児童生徒の在籍校への整備完了までは整備の加速化を図ります。



エレベーター

バリアフリー化 整備率

| | |
|--------------|------|
| 車椅子使用者用トイレ | 100% |
| スロープ等による段差解消 | 97% |
| エレベーター（校舎） | 14% |

R6.3時点



車椅子用トイレ



スロープ

③ 多様な学習環境への対応

●学校施設における教室の運用にあたっては、オープンスクエアや校内ルポ等、様々な用途での使用が求められています。

- 余裕教室の効率的な活用（各校共通した教室活用のルールづくり）

- ・普通教室や支援教室、特別教室など従来の教室も含めて対応
- ・教室機能の転用や間仕切りによるスペースの確保
- ・複数の用途に使い分けた利用（ハイブリッド）など、学校教室を効果的に活用 など

④ 事業財源の確保

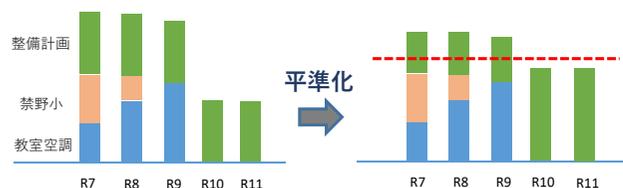
●近年の物価高騰等により事業費が増大する傾向に加えて、禁野小学校整備事業や教室等空調更新事業の事業費がピーク（R7～R9）を迎えるため事業財源の確保が必要です。

- 計画的な保全改修、最適な整備手法の検討に加え、国庫補助制度の動向を注視し、安定的な財源の確保を図ります。
- 学校施設の安全性向上や環境改善のため国庫補助金を積極的に活用し、財政負担を抑制します。

2 第2期実施計画の費用 ※第2期実施計画 事業費は精査中

●禁野小学校整備事業や教室等空調設備更新事業を含めた平準化を図ります。

全体事業費のイメージ



3 その他の改修計画

| | |
|-----------|---|
| 留守家庭児童会室 | 令和7年3月策定予定の「（仮称）児童の放課後を豊かにする行動計画」により、子どもたちにとってより良い居場所づくりに向けた環境整備（老朽化対策やトイレ等の環境改善）に取り組めます。 |
| 給食調理場 | 学校給食を安定的に滞りなく提供するため、「（仮称）学校給食施設整備保全計画」により、ドライ化システムへの改修や保全を行うことで、衛生面・安全面を確保した環境整備や環境保全に取り組めます。 |
| 小学校プール | 「市立小学校の水泳授業における民間活力の活用について」や今後策定予定の推進計画と整合を図りながら、老朽化したプール施設の保全に取り組めます。 |
| 小中学校グラウンド | 降雨後の状況調査を踏まえた、直営作業による改修等により、体育授業や部活動等の屋外教育環境の改善に取り組めます。 |